

とりい ことんど

没後50年記念

鳥居言人 歌舞伎絵と新版画

2026 年 9 月 1 日（火）～ 9 月 27 日（日）

浮世絵300年の継承者―鳥居言人の画業をひもとく大回顧展

浮世絵が誕生して間もない頃から、300 年以上にわたって劇場の絵看板をはじめとする歌舞伎絵を手掛けてきた画派である鳥居派。鳥居言人（とりいことんど、1900～76）は、鳥居派の七代目である鳥居清忠の長男として生まれ、のちに八代目を継いで大正から昭和にかけて活躍した絵師です。一方で言人は、若い頃には伝統的な鳥居派の家業に反発心を抱いていたと伝えられており、鏑木清方に師事し、先に大正新版画などの洗練された美人画で高い評価を得ました。清方は歌川国芳へ連なる玄治店派の絵師であり、言人は鳥居派と歌川派という、浮世絵の二大流派の遺伝子を受け継ぐ、唯一の継承者とも言えるでしょう。

家業を継ぐ重責と葛藤しながらも、言人はやがて歌舞伎絵にも本格的に取り組み、創造性豊かな作品を数多く生み出しました。とりわけ戦後は八代目鳥居清忠を名乗り、膨大な絵看板や舞台美術を手掛けるなど、鳥居派の本業である歌舞伎絵にも大きな足跡を残しています。

①鳥居派の伝統に挑む一大迫力の歌舞伎絵

歌舞伎絵の名門である鳥居派の家に生まれた言人は、家業と自身が好んでいた美人画制作との間で揺れ動きながら、やがて鳥居派伝統の力強さと、言人らしい近代的な感覚をあわせ持つ、魅力的な歌舞伎絵を数多く生み出していくこととなります。本展では大画面の屏風絵「志ばらく」や名作「鳴神」をはじめ、肉筆画の歌舞伎絵を多数展示するとともに、実際に劇場を飾った貴重な絵看板なども展示いたします。

② スティーブ・ジョブズも愛でた「朝寝髪」―大正新版画の美人画を全点展示

鳥居言人の画業を語る上で欠かすことができないのが、大正新版画の流れの中で生み出された美人画作品でしょう。鏑木清方の流れを汲み、女性の日常の美しさを繊細に捉えた作品は当時好評を呼びました。現代でも言人の美人画は独自の人気を誇り、スティーブ・ジョブズが川瀬巴水と並んで言人を好み、最後まで自室に飾っていたのが「朝寝髪」であったことも知られています。本展では新版画の美人画全 22 点を一堂に展示するとともに、希少な試摺なども合わせて紹介します。

③ 知られざる名品「みどりの雨」ほか、貴重な肉筆美人画を紹介

鳥居言人は 20、21 歳の頃、鏑木清方の門に入って美人画を学んだと考えられています。本展出品の「みどりの雨」は、しっとりした人物描写と淡い色使いが印象的な屏風絵の名品で、昭和 3 年（1928）5 月、清方門下が参加する郷土会展覧会に出品された記録が残る貴重な作。他にも「首尾の松／隅田川夕涼み／両国橋」三幅対など、言人ならではの繊細な肉筆美人画を紹介いたします。



(1)「志ばらく」旧下田コレクション



(2)「鳴神」旧下田コレクション



(3)「矢の根」旧下田コレクション



(4)「夜叉王」旧下田コレクション



(5)「朝寝髪」株式会社劇雅堂蔵



(6)「菖蒲ゆかた」株式会社劇雅堂蔵



(7)「菖蒲ゆかた」(試摺) 株式会社劇雅堂蔵



(8)「みどりの雨」旧下田コレクション



(9)「首尾の松／隅田川夕涼み／両国橋」旧下田コレクション



太田記念美術館
公式サイト



画像申請・取材
の申込はこちら

タイトル 没後50年記念 鳥居言人 歌舞伎絵と新版画

英タイトル Torii Kotondo: Kabuki Prints and Shin-Hanga (New Prints)

会 期 2026年9月1日（火）～9月27日（日）

開館時間 午前10時30分～午後5時30分（入館5時まで）

休 館 日 月曜日（9/21は開館）、9/24

入 館 料 一般 1200円 大高生 800円 中学生以下無料

ア ク セ ス JR山手線 原宿駅（表参道口）より徒歩5分
東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅（5番出口）より徒歩3分

問 合 せ 050-5541-8600（ハローダイヤル）

公式サイト <https://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

公式X（twitter） @ukiyoeota

公式Instagram ota_memorial_museum

会場・主催 太田記念美術館 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10

TEL 03-3403-0880 FAX 03-3470-5994

E-mail media@ukiyoe-ota-muse.jp

企画担当：渡邊晃 広報担当：金塚さくら